

【創造】【充実】【発展】 高い志と思いやりの心もち、自ら学びたくましく生き抜く生徒の育成



大潟中学校
学校だより
NO.4 R5.6.7
文責 小野貴幸

さあ中総体!! 燃やせ大中魂!!

先日、男鹿潟上南秋中学校総合体育大会の組合せについてお知らせしました。今回は、大会に向けての意気込みを紹介します。



「最高の仲間と一緒に」 野球部主将 門〇〇実さん

野球部は、秋と春に悔しい思いを2回もしてきました。僕たちは去年の先輩たちを越えるために、それぞれが意見を出し合い、よりよいプレーをするために努力してきました。しかし、新チームになったときには、京谷先生やコーチに指示されたことをやるだけで精一杯でしたが、冬にランメニューを数多くこなし、下半身を強化したことで、守備範囲が広くなり、プレーにも余裕ができました。春季大会で課題となった三振の数の多さを克服するために、普段よりもピッチャーを前において、速いボールや変化の大きいボールを打つようにしました。そのおかげで練習試合では三振が大幅に減りました。その成果を夏の大会でも発揮して、一番難しい初戦を必ず突破します。そして、どこが相手だろうと全力疾走・全力発声の「大中野球」を貫いて優勝します。

2日間応援、よろしくお願いします。

「コンクールに向けて」吹奏楽部部長 鎌〇〇華さん

吹奏楽部は、7月に行われるコンクールに向けて日々頑張っています。「一音入魂」や新しく考えた「tutti e solo」という目標に向かって、soloのように人を惹き付けるような演奏を、部員全員で聴衆のみなさんに届けたいと思っています。私たち吹奏楽部のよさは、いつも明るく元気で、学年関係なく仲がよく、そしてどんなことでも楽しみながら全力で取り組むことができることです。このよさを大切にしながら、頑張っています。

1年生は初めてのコンクールということもあって、緊張もみられますが、自分にできることを頑張っています。2年生は去年の経験を生かしながら、よりよい演奏ができるように頑張っています。3年生はこれが最後のコンクールであるため、より一層気持ちを込めて練習に励んでいます。春から少しずつ準備をしてきて、一人一人が曲のよさを伝えられるように、いろいろな工夫をしています。自分たちも楽しく、聴いてくださる方々を感動させるような演奏をみんなで創っていききたいと思います。応援をよろしくお願いします。

「市郡総体への思い」 野球部副主将 勝〇〇颯さん

僕はこの2年間と数ヶ月、必ず全県大会に出場するという目標を掲げて練習してきました。しかし、ひとつの試合を勝ち切ることは簡単なことではありませんでした。秋の新人戦、新チームになって初めての公式戦で、味方の援護に答えきれずに敗退。一冬越した春の大会では、ノーヒットノーランという悔しい結果になりました。しかし、そこからチームは変わってきたと思います。

まず、ひとりひとりが自分に足りないところに気付き、そこを補っていくという練習ができるようになってきました。最初は声が出ていなかった後輩たちも少しずつ声が出るようになってきました。

市郡総体では先のことは考えずに、今まで練習してきたことを目の前の試合に全力で注ぎ、チーム一丸となって相手にぶつかっていきます。

チームの練習は、抽選会が終わり対戦相手が決まってからは、更に熱が入りました。チーム全員が必ず勝つという気持ちで、練習に取り組んでいます。僕は少しでも長く、このチームで野球がしたいです。だから、絶対に優勝します。

「笑顔ではじまり」 野球部副主将 谷〇〇月さん

6月17日、この11人でプレーする最後の日になってしまうかもしれない日。その日が近づくにつれ、僕は、大潟中学校野球部に入学してからの自分、チームについて考えることが多くなってきた。

〇〇先輩たちの代、〇〇先輩たちの代。たくさんのことを教えてもらい、たくさんのことを学んだ。先輩たちとずっと一緒にプレーしたかったが、あつという間に門〇〇実の代になった。〇実にもいろいろ教えてもらいたかったが、そうもいかない。今度は自分たちが教え、伝える番だからだ。もう自分のことだけを考えていられないという時期ではなくなった。はじめのころは、先輩たちなしで野球をするには違和感があったが、少しずつ慣れてきた。みんなで練習するにつれて、野球がより一層楽しくなってきた。

4月、後輩が入部し、チーム全体がキリッとしたような空気になった。僕たちが3年生になってから、チーム内のコミュニケーションがより活発になり、試合中でも自分のミスの原因をチームメイトに聞き、すぐに自分のプレーを改善しようとする姿が数多く見られた。

負ければ終わり。小学3年生の頃からずっと一緒に野球をしてきた。だからその言葉を聞いても正直、実感がわいてこない。でも後悔だけはしたくない。このチームで優勝を味わいたい。残された日数もあと僅か、最後の追い込みをかける。そして忘れてはいけないのが、先生、保護者、大きくて重い楽器を持ってグラウンドまで応援に来てくれる吹奏楽部だ。去年の地区大会で優勝できたのは間違いなく、たくさんの人たちが応援してくれたからだ。大変暑くなると思いますが、今年も応援をよろしくお願いします。

全力でプレーする。全力で楽しむ。全力で感謝する。

僕たちが1年生の頃、3年生は東北大会で優勝した。

「俺たちも3年生みたいに笑って引退したいなあ、帰りのバスで僕たちの中の誰かがふとこぼした言葉は、たしかこんな感じだった。

2023年の夏は、大潟中野球部が笑顔ではじまり、笑顔で終わる番だ。

「あなたの士気を高めます! 大中応援団」 応援団長 遠〇〇琴さん

「もっと静かにしなさい。」たまに言われるその言葉に違和感を覚えます。でも、思ったことは何でも言葉にしてしまおうし、普段から声も大きいし…。でも、そんな人が応援団で全力で応援したら、みんなが嬉しくなると思います。だから大会までの期間は放課後に中庭から、16日の激励会は体育館で、力の限り堂々と各部に声援を届けます。6月17日で3年生の部活動を終わらせないために、私たちの応援を力に、みんながいい球を飛ばすことができるように、吹奏楽部が全力で演奏できるように。そんな気持ちを込めて大声を出したいと思っています。今年の応援団には女子がたくさん入りました。しかもかわいい1年生です。ということは、放課後や激励会で黄色い声援がたくさん聞けるということです。各部の皆さん、楽しみにしててください。応援団みんなで声を出し、頑張ります。私たちは大会までの期間も当日も全力で応援しています。当日は応援に行けるか分かりませんが、みなさん、落ち着いて頑張ってください。みなさんの晴れがましい顔を待っています。

「全員バレー」 バレーボール部主将 榮〇〇香さん

私たちの横断幕には、白い文字で大きく「全員バレー」と書かれていて、私たちの最終目標は、地区大会優勝・全県大会出場です。春季大会は準優勝という結果で、あと一步のところで優勝を逃してしまったので、夏季大会では絶対優勝して全県大会に進みます。私たちは、春季大会の決勝戦で負けた五城目一中に勝つために徹底的にブロックを練習し、守備範囲を広げて、ボールをコートに落とさないための工夫をしてきました。その練習の成果を本番で発揮できるように、頑張ります。全員バレーとは、一試合、一試合をチームみんなが支え合って、全力でプレーすることだと思います。最後の最後まであきらめず、悔いの残らないような試合をします。

「全員バレー」という目標は、代々受け継がれてきた目標です。私たちの代では、私たちなりの「全員バレー」を見せつけます。3年生は最後の大会、悔いの残らないよう、全力で大会に挑みます。応援、よろしくお願いします。

「コンクールに向けて」吹奏楽部部長 佐〇〇星さん

僕たち吹奏楽部は、コンクールの練習に力を注いできました。今年は1年生が6人も入部し、心強く思っています。人数が少なく、入部したばかりの1年生に頼ることが多くなりますが、その1年生は頑張ってそれに応えてくれています。2年生は、去年とはまた違ったオーラが感じられます。2年生はコンクールのイメージができていますので、どのように吹けばいい音になるのか、どうすればきれいなハーモニーを響かせられるか、日々研究しながら練習に励んでいます。2年生は3人しかいませんが、その3人ともとても大きな存在です。3年生は全ての行事において「最後の」という言葉がついてきます。コンクールも泣いても笑っても最後なので、頑張って演奏したいです。

1年生から3年生まで、みんな仲良く活動しているのが、今の吹奏楽部の強みです。何事にも全力で取り組みますが、吹奏楽部は、楽しく演奏することを一番に考えながら活動しています。去年は地区大会は金賞、県大会は金賞でしたが東北大会には出場できませんでした。今年も去年の悔しさを晴らすために、練習を頑張る、東北大会に出場したいと思います。



「大会に向けて」バレーボール部副主将 山〇〇実さん

私たちバレー部は、「地区大会優勝・全県大会出場」という目標に向かって練習や試合を積み重ねてきました。時には壁にぶつかり、悩んだことや悔しかったこともありましたが、話し合いや試合中のコミュニケーションを大切にして、全員で乗り越えてきました。また、春の大会から今までの期間で、疲れているときに力を発揮するということや接戦で勝ちきるということができるようになったと思います。そのように成長した姿を見せられるよう、精一杯頑張ります。たくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、大中バレー部全員で戦い抜きます。応援、よろしくお願いします。

◆吹奏楽◆
第65回秋田県吹奏楽コンクール中央地区大会
期日：7月2日(日)
会場：あきた芸術劇場 ミルハス



「笑顔」 卓球部主将 井〇〇来さん

今回の市郡総体の目標は、全県大会に出場し、ひとつでも多く勝ち進むことです。勝ち進むために、1試合、1試合を全力で楽しみたいと思います。これまで卓球部では、選手一人一人が、自分に足りない部分は何なのかを考え、改善しようと練習に励んできました。試合でも練習通りに、雰囲気よく全力でプレーしたいと思います。

団体戦での目標は、自分の役割を果たして、試合に勝つことです。そして、〇〇先輩と〇〇先輩よりも活躍することです。また、自分から積極的に声をかけ、チームを盛り上げられるように頑張りたいです。これまでの先輩たちのように、試合を楽しめるように頑張ります。個人戦での目標は2つあります。一つめは、決勝まで進み、勝ちきることです。このためにコーチや先生から教えてもらったことを大切にしながら練習に取り組んできました。自分のベストの力を出せるように、頑張りたいです。二つめはどんなときでも笑顔でプレーすることです。ピンチの時でも、辛い表情をせずに、笑顔で頑張ります。

大潟中卓球部、全員で一丸となって、笑顔で勝利を目指します。



「最後の市郡総体で」卓球部副主将 郷〇〇飛さん

私が最後の市郡総体で頑張りたいことは、三つあります。一つめは団体戦です。昨年までは人数が4人しかおらず不利な状態で試合をしなければなりませんでしたが。今年は1年生が入部したのでようやく6人で団体戦に出場できるので、とてもうれしいです。私が団体戦で大切だと思っていることは、応援です。経験から、応援のおかげで勝つという試合がたくさんあったので、仲間を全力で応援したいです。二つめは流れです。試合の中では流れというものがあります。私がこチームに流れを引き込むような試合をしていきたいです。三つめは個人戦です。春の個人戦ではベスト8という結果で、新人戦より良い結果を出すことができませんでした。思い出したくないぐらいとても悔しい思いをしました。敗因は、打ちに行かなければならないボールも、安全に返しに行ったことです。私がこの敗因から学んだことは、勝負時にミスをおそれるのではなく、しっかりと勝負に向き合い、強気のプレーが大切だということです。3年間で身に付けた技術をすべて出し切り、全県大会出場の切符を手にしたいです。市郡総体は中学校生活最後の大会になるかもしれないので、悔いの残らないように、精一杯頑張りたいと思います。

